

<発行元>

永平寺町観光ボランティアガイドの会

永平寺町松岡神明3-107 (永平寺町観光物産協会内)

TEL (0776) 61-1188

## ご挨拶

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年3月の北陸新幹線敦賀延伸は、本県観光にとって大きなターニングポイントとなり、富山、石川とのつながりもより強固なものとなりました。

観光スタイルも、SNSなどを活用したITの進化で、地図アプリ等からの情報入手や生活・伝統文化体験、美術館巡りなど日々変化の時代に入っています。

そんな中、旅の満足感の一つに、エンターティナー性、知識、情報提供者の顔も持つ観光ガイドがあり、魅力溢れる話は旅行者の記憶や思い出の写真に永く残り、旅行者の口から口へと周囲の人たちに伝えられます。

昨今の状況下、自己研鑽をはじめ観光への地域メディア、インターネットの最新情報を把握し、ユーモア溢れ魅力ある話術力の向上等が、地域情報の拡大、リピーターの確保や滞在・関係人口の増加を生み、地域活性化に寄与する一助になると考えられます。

今後とも、当会へのご参加と活動に一層のご支援をお願い申し上げます。

永平寺町観光ボランティアガイドの会 会長 前川 治 一

## 町シルバー人材センターさんの「歴史を学ぶ継承活動」を実施

令和6年8月6日(火)、シルバー人材センターの事業の一環で「歴史を学ぶ継承活動」を実施しました。

夏休み中の小学生向けの活動で、今年は上志比地区で行われました。興行寺さんの本堂に集合してお寺の歴史や上志比とのつながり等を語って頂きました。ボランティアガイドの林さんが上志比地区のお話をして下さり私(西)は上志比につながるのある紙芝居をさせて頂きました。松岡からの参加が多く、真剣な顔つきで聞き入っていました。最後は華の蔵、本堂、境内等を案内して頂き初めて知る歴史も多々あって勉強になりました。今年は松岡地区で開催する予定との事です。

(西 芳子)



## 大東中学校1年生の校外学習に協力

福井市大東中1年の「地域の宝」発見一校外学習として松岡地区を選んだ生徒たち10名が訪れ、ボランティアガイドが「松岡の歴史と十二曲り」を説明しました。



### 参加した生徒さんの感想等をいくつか紹介

- ボランティアガイドさんからお話を聞いて、松岡の歴史を知ることができました。現在も残っている松岡十二曲がりやたくさんのお寺があることがわかりました。古くからの建造物や歴史が残り続けているのは素敵なことだと感じました。松岡の歴史はとても魅力的で、もっと知りたいと思いました。(Aさん)
- 校外学習で松岡の歴史を知ることができました。なぜ松岡ができたのかや、松岡十二曲がりの特徴などを学ぶことができました。松岡の特産品である鋳物が昭和23年まで作られていたことや、鋳物が作られなくなった理由も知ることができました。松岡は歴史や産業がとても豊かだったということがわかりました。(Bさん)
- 松岡を取材して印象に残ったのは、豊かな自然と人の優しさです。自然に生えている木々や草花がとても美しく感じました。また、僕たちのために短い時間でたくさん資料を用意してくださったり、インタビューでは優しく気遣ったりしてくださいました。人との繋がりが福井の宝だと感じました。(Cさん)
- 昔の建物や伝統が今でも残っているのはとても素敵なことだと思います。私は昔の建物や歴史について興味があり、それらのことを知れてうれしかったです。機会があればまた教えていただきたいです。(Dさん)

## 地域と進める体験授業

### 上志比中学校への 訪問語り部活動



令和6年5月29日(水) 9:00～

ニンニクの里・上志比地区。

この地には古くから人々の信仰の対象になっている神社仏閣があります。

商売繁盛の神様として知られている「弁財天白龍王大権現」です。今年は、巳年でお正月は多くの参拝で賑わいました。一方、浄土真宗の親鸞聖人の教えを広められた周覚上人によって創建された古刹「興行寺」や道元禅師、入越最初の道場で知られる「吉峰寺」も昔から人々の心のよりどころとして親しまれています。

また、神社仏閣の他にも小舟渡駅の歴史、かまぶろ温泉の跡地、市荒川発電や各地域に存在する「お清水」の説明など盛りだくさんの探求学習でした。

この体験学習を通して生徒達が上志比の土地の歴史・文化・風土・習慣などを感じたことをきっかけに彼らの郷土愛が一層深まるよう、私達、観光ボランティアガイドの会の活動を幅広く発展させていきたいと考えています (多田美知子)

## 「永平寺参ろ一ど」を ご案内いたしました!



九州の旅行会社からのツアーのお客様を11月と12月の2回計61名をお迎えし、えち鉄永平寺口駅にて、永平寺参ろ一どの歴史や沿道のポイント等をご案内いたしました。



参加者は、永平寺参ろ一どをウォーキングにて永平寺門前へ向かい、ご参拝やお食事の後、越前市へ向かわれました。



## 四季の森複合施設、旧傘松閣(絵天井の間) の案内ガイドを行いました!

・日時 11月8日(金) 10:30～

・実施場所 四季の森複合施設絵天井の間

福井県女性校長・教頭会の吉田・坂井ブロック会議が行われ、その中で旧傘松閣(絵天井の間)のお話をさせていただきました。



## 永平寺町観光ボランティアガイドの会 会員募集中!!

おもてなしの心を大切にし、訪れる方に永平寺町の自然・歴史・文化といった魅力と一緒に紹介していきませんか。



お問合せ

TEL.0776-61-1188 永平寺町観光物産協会内事務局

## 「2025年は巳年?ヘビ(蛇)年?」

昨年の暮れから、メディアの間で盛んに聞かれている言葉「巳年、ヘビ年、巳年、ヘビ年」のくり返し……「一体どっちが本当(主流)?」と思うのは私だけでしょうか?ある人に聞いてみたら「そんなもんでもいいじゃ(蛇)なーい」と見事なダジャレで返されてしまった。(笑)

それならば、ご利益をいただこうと巳年にちなみ「竹原弁財天白龍王大権現(ヘビ神様)」へ。

元旦に力んで行ったまではよかったのだが……イヤハヤ混むわ混むわ……駐車場まで到達できず参拝どころでは無く考えが甘かった……出直しを決め、後ろ髪を引かれる思いで家路に。

翌2日午前8時30分に出発、昨日の混雑が嘘のようにスムーズに弁財天の駐車場に到着(知人の話では、後には大混雑したようです)。境内の「大岩の割れ目をのぞき込む」も、肝心のご神体のシロヘビさんは拝めず。「全然拝めないわ、本当にいるの?間違いないか」と何人もの参拝客の眩き声のむなしかったこと。愚問かもしれませんが、あなたがもし年男、(年女)で「干支は?」と訪ねられたとき、巳年?ヘビ(蛇)年?どう答えますか? (大谷 進)

